

館報

華ばなく
スタート



4月号

No. 816

令和6年
(2024年)

やまがた



子どもの居場所を、子どもとともにつくる

ふるや しげひと
古家 茂人さん (下竹田)

昨年4月から、トレーニングセンター2階の教養室で『山形村子どもたちの居場所』(愛称『トロッコにここにこフレンズ』)のマネージャーをしている茂人さん。小学校3年生から6年生の児童を受け入れ、学習習慣を付けたり、自主性や自己肯定感を高めたりする支援をしています。

「運営スタッフに恵まれました。われわれの方が子どもたちから学ぶこともあり、毎日が充実しています」と話してくれました。

(3月18日 トレーニングセンター教養室にて)

働く姿



山形村歴史講演会

3月24日(日)

激突する権力の狭間で
〜武田氏滅亡後の信濃〜

山形村開村150周年、山形村史談会創立50周年を記念して史談会と教育委員会共催による歴史講演会がトレーニングセンター大ホールで開催。120人が耳を傾けました。講師は史談会と大変縁のある、長野県立歴史館(千曲市)で特別館長の笹本正治さんです。

日本史における最大の乱世である戦国時代の背景には、『天皇も含め、強い権力がなかった』こと、『異常気象で飢饉が起こっていた』ことが古文書からわかっているそうです。日本中が争っていたのは、領地を拡大して石高を増やし、生き抜くためだったのではないかと想像できます。

信濃国の戦乱

武田信玄は天文17年(1548年)7月の塩尻峠合戦を皮切りに、天文21年8月までのわずか4年間で安曇や筑摩の両郡全域を支配しました。その後、室町幕府が滅亡して安土桃山時代に移り、元

亀4年(1573年)に信玄が病死すると、長篠の戦い

(1575年)で織田・徳川の連合軍に武田勝頼が大敗。天正10年(1582年)3月、追い詰められた勝頼は自刃して武田氏は滅亡しました。その年の6月、本能寺の変で織田信長が没すると権力の空白地帯となった信濃は地域ごとに別の武將が統治する状態となり、徳川と豊臣の思惑も入り乱れてさらなる戦乱状態が続きました。旧山形村地域では、

天正10年8月26日に小笠原貞慶が宝積寺の寺領を安堵とあり、小笠原氏の支配下にあつたようです。混沌の月日が流れ天正15年、貞慶と家康との関係が好転したことで戦乱状態に一応終止符が打たれました。天正17年には家督を継いだ貞慶の子、貞政(秀政)が家康から筑摩・安曇郡の松本領を安堵され、家康の家臣に加わりました。ちなみに翌年の天正18年、信濃松本10万石に加増移封された石川数正は慶

長18年(1613年)までの23年間、嫡男康長と共に松本城下町の建設に務めました。また、関ヶ原の戦い後に飯田に移封されていた小笠原秀政は慶長18年に松本領へ復帰を果たしました。

戦国時代の現実

ドラマや映画で描かれる、上のものに付き従う主従関係や忠義は、戦国時代はほとんどなかったことが当時の古文書から読み取れるようです。誰に組みすれば生き残れるか、あるいは得をするのか、この考え方が根底にあるので強者には争わず従うことが重要でした。そのため、裏切りや立場の放棄も殊更悪いことではないとされていたようです。これも、敵対して合戦をして敗れると悲惨です。武將たちは全員首を落とされ、全財産は略奪されます。また、女子どもは拉致され奴隷となり、場合によっては海を越え東南アジアの国へ売られていたことがわかっています。まさに地獄です。

笹本さんは戦国時代は嫌いだと話します。嫌いだからこそ歴史研究をしているのだと。『強いものが弱いものから奪う』これが戦国時代の本質であって、狂気の時代だったと考えさせられました。



村の山城は民衆が自分たちの安全を守るために整備したのではないかと語る笹本さん

清水寺管理人さんご返任

長年、山形村清水寺の管理人を務められた倉畑道久さん・よし子さんご夫妻が令和6年3月末をもってご退任されました。倉畑さんは平成24年(2012年)から12年にわたり清水寺境内の保全や、参拝者の案内などを住み込みで担当されました。

倉畑さんから館報読者の皆さんへコメントをいただきましたので掲載します。

このほど、私たちは山形村清水寺の管理人として12年間務めさせていただきましたが、3月末をもって辞させていただきました。になりました。

在職中は山形村民の皆さまをはじめ、京都清水寺の皆さまや県内外の方に大変お世話になりました。

本当にありがとうございました。



長年にわたり清水寺を守っていたいただき、ありがとうございます。そして、お疲れ様でした。

なお、後任の方については、次号でお知らせいたします。

山すそ

個人的ですが、またラジオを聞くようになりまして▼私が聞き始めたのは中学生の頃だったと思います。当時、同

級生との会話でラジオネタが出て聞いてみたのが始まりでした。当時はラジオを『娯楽』として活用していました。テレビ番組同様に、聞きたい番組の開始時間を待つて臨んだものです。その後、年齢を重ねるとラジオは娯楽のためではなく、情報収集のために聞くようになりました▼現代はスマートフォンでラジオを聞くことができます。お持ちの方も多いと思いますがモバイルバッテリーがあれば電源が確保できない場所でも使え、これは震災時にも有効に活用できるのではないかと最近よく考えます。震災直後はインターネットが繋がらない状況になります。少し時間をおけば情報収集に役立つはずですよ。ラジオを聞くときは、感動したり、励まされたり、感動したり、懐かしい歌と一緒に歌ったり。とても気持ちよく落ち着きます▼ラジオを全く聞かないという方も一度聞いてみてはいかがでしょう。聞き流すだけでも十分です。

図書館からのお知らせ

こどもの読書週間
(4月23日～5月12日)
「今年も走ろう、
読書マラソン2024」

村図書館・学校図書館共催、10年目の読書マラソンです。昨年度は60人が完走しました。

今年度も11コース用意しました。どのコースも魅力たっぷり、自信を持ってお勧めします。

小学校にも村図書館にも専用コーナーを用意しました。図書館HPにもリストをアップしています。

完走者には完走賞と宝箱を開ける権利を差し上げます。

走るコースは自由、時間制限なし。自分のペースでゆっくり走ろう！

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館へ！

BOOK No.69
編集＝山形村図書館

『図書館のいま』

～令和5年度の総括

コロナ5類移行に伴い、4年ぶりに通常運転に戻った図書館です。令和5年度は、子どもたちの大好きな食べ物イ

イベント『からのすのぱんやさんのパン作り』で幕開け。夏はビオトープで自然にどっぷりつかり、秋はナイトライブラリーで物語にしっとり浸り、冬は消しゴムハンコやけん玉をたうぷり楽しみ、計画したイベントはすべて盛況のうちを終了し

Table with 4 columns: Category, 令和4年度, 令和5年度, 前年度比. Rows include 蔵書数, 利用登録者, 貸出冊数, 貸出人数, 入館者数.

平成6年度図書館イベント (予定)

詳細はチラシ・HPなどでその都度お知らせします。

Calendar table for平成6年度図書館イベント from 3月 to 4月 with event details.

ました。蔵書数は37,000冊(開架28,000冊)を超えました。現図書館の容量オーバーなのですが、皆さんにたくさん利用していただいているおかげで、なんとか棚に収まっています。令和5年度は子どもたちの居場所支援事業がスタートし、居場所を利用する子どもたちが毎日図書館に来てくれたので、入館者数を大きく伸ばしました。複合施設の中にある図書館の強みだと思います。令和6年度も心躍る企画を用意しています。図書館に足を運んでください。

小さなお客さんの、

図書館探検！

3月13日(木)、楽しみにしていた遠足なのに雨！という訳で、山形保育園の年中・年長さん120人が図書館探検に来てくれました。好きな本を手にしたたり、先生に読み聞かせてもらったり、おおいに楽しんでもらいました。

後日「図書館に行きたい!!」と私たちの人を連れて再訪してくれた子が何人もいました。今後はお散歩コースに『図書館』も加えてほしいなあ。

BOOK 69 新着本

『おすすめ新着本紹介』

『ゆるDIY』 さしゃ(インプレス) 簡単、時短、ローコストで、ゆるくDIYを楽しみましょう。収納付きベンチなど、シンプルな工程でできるアイテムを紹介しています。



『弁当は定番おかずのくり返しでいい』 井原裕子(学研)

そう言ってもらえると気が楽です。主菜は人気の定番おかずで決まり！4月から弁当生活が始まった人におすすめします。



『学芸員しか知らない美術館が楽しくなる話』 ちいさな美術館の学芸員(産業編集センター) 「展覧会ができるまで」 「学芸員という仕事」 「美術館を楽しむヒント」 など。舞台裏を知ると、別の「観る」楽しみが広がります。



『トイレからはじめる防災ハンドブック』 加藤篤(学芸出版社) 備えは後回しにされがちな「トイレ」。実は被災地の深刻な問題です。安心できるトイレ環境は、命を守ることに次に大切です。



『りんごりら』 あべけんじ(福音館) りんごーごりらーらっばをつなげてりんごりらっば。そこに次々とことばがつながる、ゆかいなしりとり絵本です。



『ひらがなさん、じけんです！』 正高もとむ(くもん出版) ひらがなさんが仲良く暮らす村で、「なや」「か」についていた「てん」が無くなる事件が起きます。てんを持ち去った犯人は？ 仲間の大捜索が始まります。





人の動き

(敬称略)

◇区長(新任)

上大池 中村 康利
小坂 永田 善正

◇山形保育園保護者会

会長 野村咲菜恵
副会長 中村 智子
書記 中村彩由実
会計 上條まどか
幹事 大池 友
" 鬼頭 希和

支部長(上大池)

山崎 和佳
" (中大池) 平沢 幸子
" (小坂) 中川 舞
" (下大池) 小林 真澄
" (上竹田) 丸山 敦子
" (下竹田) 塚田 翔太

◇山形小学校PTA

会長 齋藤 祐馬

副会長

桐原 貴弘
" (郡P委員) 佐々木 美幸
" 市川 樹理
" 宮本 宣子
" 村上 瑞恵
" 塩原 忍
" 藤原 和美
支部長(上大池) シュラークさやか

学級部長

" (中大池) 上條 政彰
" (小坂) 川上 夢
" (下大池) 粟津原 丈
" (上竹田) 黒沢 美雪
" (下竹田) 濟藤 文美

広報部長

" (下竹田) 荻上 慶
" 羽廣 郁美
" 恩田 功
" 山崎 ゆか
" 内堀 優太

◇小学校に迎えた先生

(四賀小より) 岩淵 優太
(塩尻広丘小より) 大野 幸子
(新規採用) 北原 綾乃
(新規採用) 日下部 拓朗
(塩尻宗賀小より) 戸辺 修
(松本芝沢小より) 廣田 悦子
(塩尻西小より) 古旗 雅子
(塩尻片丘小より) 山下 同
(塩尻吉田小より) 市川 麻生
(塩尻西小より) 中村恵梨那
(松本市西部給食センターより) 齊藤 歩
(木曾日義小より) 原 明子
(新規採用) 石川 利恵

◇鉢盛中学校PTA

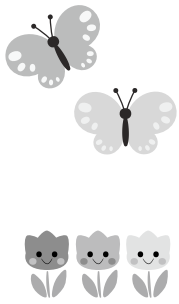
(山形村関係分) 副会長 佐野 学
" 幹事 高倉 仁愛
" 顧問 春日 泉
支部長(上大池) 和泉 泉
" (中大池) 藤原 和美
" (小坂) 西牧 智子
" (下大池) 小林 早香
" (上竹田) 須山 牧子
" (下竹田) 野口 詩穂

◇中学校に迎えた先生

(安曇野三郷小より) 岩崎 佳弘
(松本市教育委員会学校教育課より) 今野 美穂
(松本清水中より) 小口 往子
(松本波田中より) 上條 俊文
(松本開明小より) 古井 幸乃
(新規採用) 高山 知恵

◇公民館報編集部員

部長(上大池) 中村 辰弘
部員(上竹田) 清原 義雄
" (中大池) 荻上 慶
" (下竹田) 赤羽 圭介
" (下竹田) 百瀬 志帆
" (小坂) 稲田 巧
" (下竹田) 村田 千春
" (下大池) 大岩 音寧



新編集部員紹介



村田 千春 (下竹田)

今年度より新たに館報編集部員となりました、村田千春です。小学5年生より山形村で育ち、2月から地元である山形村の地域おこし協力隊として着任しました。観光振興担当として「山形村の良さ」を活かして何ができるのか模索しています。地域おこし協力隊の目線で様々な情報をお伝え出来ればと思っておりますのでよろしくお願いたします。



大岩 音寧 (下大池)

今年度より新たに編集部の一員となりました、下大池区の大岩音寧です。

昨年は山形じゃんずらの「じゃんぷろ」で代表を務め、若者の活動を支えてきました。

編集部では山形村の魅力に住民の方々を中心に再発見し

ていただけるよう尽力し、地域の活性化に貢献できたらと思います。どうぞよろしくお願いたします。



稲田 巧 (小坂)

今年度から、館報編集部の一員になりました、小坂地区、稲田巧です。

館報は、よく拝見させてもらっていましたが、自分が発行する側になる事に、とても緊張しますが、村民の皆さまが楽しく読んでいただけるような館報を作れるように頑張りたいと思います！よろしくお願いたします。



～入学式～ 63名入学



元気いっぱい、笑顔あふれる63名の1年生を迎えることができました。

～卒業式～ 76名卒業



保護者、地域の皆さん、在校生から思いを込めた歌声を送られながら堂々とした姿で巣立っていきました。

山形小学校

卒業・卒園
入学・入園特集



これから始まる中学生生活を楽しみにしてきた新入生。全校笑顔いっぱいでの新年度がスタート！



114名入学
(うち山形村72名)

～入学式～



保護者の皆さん、地域の皆さん、在校生、職員、たくさんの方に温かく見守られながら巣立っていきました。

163名卒業
(うち山形村102名)

～卒業式～

鉢盛中学校

年少組の子どもたちが、保護者の方と一緒に入園式に参加しました。新入園児を迎え、和やかに新年度がスタートしました。



45名入園

～入園式～



年長組の子どもたちが、友だちと話し、考えを出しあって行われた卒園式は、保護者の方に見守られ、温かい式となりました。

54名卒園

～卒園式～

山形保育園

新しい友だちの入園と在園児の進級をお祝いし、春の歌と手遊びを一緒に楽しみました。



7名入園

～はじめの会～



今年度は来賓の方をお呼びしてトレーニングセンターで行いました。出席された方がたに見守られ、卒園児はのびやかにリズムと歌を歌い、晴れやかな表情で卒園しました。

9名卒園

～卒園式～

やまのこ保育園



3月23日(土)、ミラ・フールドにて鉢盛中学校合唱部による春のコンサートが、こどもコーラス「ampopo」、信州大学グリーククラブも参加して盛大に開かれました。
現在、鉢盛中学校合唱部は新入部員を募集中とのこと。新入生に限らず、心一つに歌うことの喜びを味わいたい生徒をお待ちしているそうです。

鉢盛中学校合唱部
春のコンサート



インナーマッスル

3月15日(金)、トレーニングセンター大ホールにて、インナーマッスルトレーニング講座が行われました。参加者は、『見ていただけでも『キツそうだな...』と感じる動作で筋肉を鍛えていました。笑いもあり、その中で参加者の真剣な表情が印象的でした。講師の飯島泰俊さん(安曇野市)は「筋トレをしないと筋力が落ち体温が下がります。体の免疫力



生き生き塾 最終回 「合唱く青春は止まらない」

3月19日(火)、ミラ・フード館にて、15名の参加のもと講師に小林佳子さん(下大池)を

お迎えして開催されました。三百六十五歩のマーチ(昭和43年水前寺清子)を皮切りに、全15曲を腹式呼吸で声を出し、皆で歌うことで一体感が得られた最終回となりました。



沖縄料理

3月19日(火)、トレーニングセンター調理室にて、沖縄料理講座が行われました。当日は、地域おこし協力隊の幸地慶さん(下竹田※沖縄県出身)が講師を務め、沖縄の一般的な家庭料理3品を作りました。いずれも簡単に作ることができて



を作っていました。最後には「また開催して欲しい」との声も聞かれました。

スコーン

3月22日(金)、トレーニングセンター調理室にてスコーン講座が行われました。講師は元地域おこし協力隊でスコーンを製造販売されている穴澤雅美さん(上大池)。幅広い年代の参加者が集まり、お菓子にも食事にもなるスコーンづくりを楽しみました。



山形村りんごオーナー 園主会総会

園主会は3月25日(月)、民宿かねもとで、最後の通常総会を行いました。去る2月1日(木)に歴代園主を交えた解散会が開催されていて、25日は園主と各部署の担当が集まり収支報告が主な議題でした。

来賓で観光協会会長の林和男さんからは「一時は山形村観光と言えりんごオーナーに尽きるというほど盛んでありました。村に多くの人を呼ぶオーナー制度には本当にお世話になりました」と園主の皆さんを労いました。最後の園主会長の小林博幸さん(小坂)は「本日で園主会は最後であります。また何かしら違った形で山形村のりんごを発信していきたい」と今後の抱負を語りました。今後、希望のあったオーナーには園主が同意すれば個人的な継続が可能ですが、基本新規の募集は行っていないとのことです。



スポーツ交流会

3月20日(木)、ふれあいドームとトレーニングセンター体育館にて、山形村と諏訪市のスポーツ推進委員同士の交流会が行われました。それぞれが力を入れている『モルック』

と「ヘルスバレーボール」というニユースポーツを、お互いに教えあい実際にプレイして楽しく学びました。



- | | |
|---------------|--------------|
| 高木 昭子 80歳・上竹田 | 松原 湊 華乃 上竹田 |
| 大池 浚三 79歳・下大池 | 西島 瑠佳 美陽 上大池 |
| 住吉 園子 84歳・小坂 | 宮川 悠仁 信彦 下大池 |
| 大久保 晴之 55歳・小坂 | 古畑 馨 将綾 上竹田 |
| 百瀬 恭夫 80歳・上竹田 | 大池 蘭 友綾 下大池 |
| 旗町 進 57歳・下大池 | |
| 籠田 ちる子 97歳・小坂 | |

今月の声

「やって見せて、やらせて見せて 子どもたちへの理想の

姿を映す鏡となる」

令和6年度

山形小学校PTA会長

さいとう 齋藤

ゆうま 祐馬

(下竹田)



この度、令和6年度の山形小学校PTA会長を務めさせていただきます。下竹田の齋藤と申します。私は福島県郡山市出身で、2011年3月の東日本大震災後の7月より山形村へ移住。気候も出身地と似ていて、地域の方々の温かさもあり、すぐに馴染むことができました。趣味はトランペットを始めとする金管楽器演奏で、イベント活動や子どもたちへの講師としても積極的に取り組んでおります。昨年度の山形小学校の音楽会では、子どもたちの金管バンド演奏で指揮をさせていただきました。今年度もPTA会長として年間行事を通した子どもたちの活動に寄り添っていきたくと思っています。

PTA活動とは、子どもたちに関わることでできる大人が、学校や地域での生活をサポートし、子どもたちが「社会に出ていくための力を養う」ことが目的であると考えております。保護者の方々におかれましては、自分の子どもが関わる環境を守る、小学校や地域活動に参加して一緒に楽しむ、それだけでもPTA活動としての相乗効果となりますので、ご多忙であるとは存じますが、子どもたちが過ごす環境をよりよくするためにご協力の程、お願いいたします。

また、私ごとではありますが、子どもの教育方針について。私は子どもでも「一人の人間」として接するということを大事にしています。具体的には質問があった時に「子どもだから」と、説明を端折らないこと。子どもの質問に好奇心であり、自身が抱えた課題でもあります。課題を解決したいから、頼りになる存在に大人に助けを求めています。返答に対して、全てが理解までは繋がるわけではありませんが、大切なのは「子どもが求めたことに対して、真摯に受け止め、対応してくれた事実」だと思っています。関わりがいがあって関わりやすいPTAを構築していくために、皆様からの意見も真摯に受け止めて、今年度の大役に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

山形小学校にご寄付をいただきました ～ 大切にに使わせていただきます ～

3月28日(木)、村内でシステム構築に係る設計及び開発作業の請負と構築支援などを手掛ける株式会社エス・アイ・シー代表取締役社長代田光志様が山形小学校を訪れ、大池昌弘校長に「学校の教育活動に役立ててほしい」と現金10万円のご寄付をいただきました。教育活動充実のための備品購入などに充て、大切にに使わせていただきます。

告知板

B&G海洋センタープール監視員大募集!!

6月22日(土)に開館予定のB&G海洋センターのプール監視員を募集します。経験の有無は問いません。一緒にプールの安全を守ってくれる方を募集します。

内容 プールの受付、監視、清掃 など

期間 6月22日(土)～9月7日(土)

※事前に3時間程度の救命講習を実施します。

時間 午前9時～午後5時 (シフト制)

※平日のみ、休日のみ、午前・午後のみなどご相談ください。

時給 950円(通勤距離2km以上の場合別途通勤手当あり)

資格 高校生以上の方

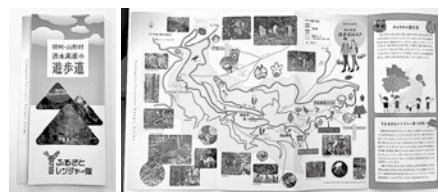
申込 5月17日(金)までに教育委員会 (☎0263-98-3155)

へご連絡ください。

車系 ②③

松本平、安曇野を一望できる場所もあります。植物や生き物を見られるポイントや目印なども載せてあります。遊歩道を散策し、清水寺でお参りも楽しめます。パンフレットは公共施設に設置してありますので、ぜひ活用ください!

身近にある自然を観察し、その魅力を発見・発信するY(やまがた)ふるさとレンジャー隊の令和5年度パンフレット「信州・山形村 清水高原の遊歩道」が完成しました。令和5年度は清水高原の遊歩道をテーマに活動してきました。実際にレンジャー隊が遊歩道を歩き、そこで見ることができ植物や生き物を写真に収めたり絵を描いたりしてまとめました。



令和5年度パンフレット

ご入学おめでとう!



雪が解け枝垂れ桜の蕾も膨らみはじめ、春の気配がいつそう濃くなる中、山形小学校の入学式が4月4日(休)に行われました。今年度は63名の新1年生が入学しました。緊張した様子ながらも堂々と入場する1年生と、それをあたたかく迎える在校生の姿に頼もしさを感じました。縁あってこの地域で育っている子どもたちが、山形小学校ですこやかに過ごせることを願っています。



担任
市川 幸世 先生
1年1組

ドキドキワクワクしながら入学してきた子どもたち。入学式でのしっかりした返事や元気な歌声から、これからの学校生活に期待を膨らませ張り切っている様子が感じられました。みんな仲よくにっこにこの笑顔で、勉強や遊びをしていこうね。保護者や地域の皆さまにもお世話になります。よろしくお祈りします。



担任
鷺澤 香織 先生
1年2組

たくさんの初めてなことに出会い、心も体もフル回転の子どもたちです。早く学校の生活に慣れて、学習も遊びもがんばっていきなさいと思っています。2組の子どもたちと一緒に楽しいことをいっぱい見つけていきたいです。まずは、満開の枝垂れ桜の下で集合写真を撮るのが楽しみです。1年間よろしくお祈りします。

山形村公民館報『館報やまがた』No816 4月号 令和6年4月発行
編集と発行／長野県東筑摩郡山形村公民館 印刷／カシヨ株式会社

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらのQRコードから)でも見るができます→

